

議会だより 186

2022年11月1日発行

三芳町



令和3年度決算審査

▶p.2

一般質問

▶p.12

モニター会議 報告

▶p.22

▶表紙写真に関する紹介が11ページにあります。

議会だより発行月

2月

5月

8月

11月

次の発行は2月1日の予定です。

令和3年度決算審査 が行われました

令和4年
第5回 定例会
(8月29日～9月21日)

一般会計決算額

歳入

総額

158億8037万2741円

(前年度比 25億4240万3794円減)

歳出

総額

147億3887万2403円

(前年度比 26億7651万7189円減)

三芳町監査委員の意見

令和3年度の一般会計は前年度と比較し、義務的経費比率は47.6%と前年度比11.4ポイントの増加となっているが、経常収支比率が6.2ポイント減の85.2%、経常一般財源比率が5.0ポイント増の107.5%、実質公債費比率が0.4ポイント減の10.5%、将来負担比率が19.3ポイント減の80.9%となっており、財政構造の改善傾向が見られる。

歳入においては、歳入総額に対する町債の比率が0.7ポイント減の3.4%となった。町債は世代間負担の公平化や事業実施の財源として必要であると考えるが、次年度以降の負担を伴うものであることから、今後も中長期的な視点に立ち、起債対象事業を選択することが必要であると考える。

歳出においては、歳出決算額が前年度比で15.4%減少した。減少の主な要因は、特別定額給付金給付事業の減である。昨年度に引き続き、財政構造の弾力性を示す経常収支比率も改善しているが、新型コロナウイルス感染症拡大により、先行きが不透明な経済状況が続くことが予想される。藤久保地域拠点施設整備事業など、大型の建設事業が控えていることから、施策の実施にあたっては、中長期的な視点に立ち、対象事業の選択や財源の確保に努められたい。また、借地解消に向けた計画的な取り組みや補助金の適正な執行など、経常的経費の見直しも引き続き努力されたい。

町行政全般においては、常に住民の目線に立ち、より効率的かつ効果的な財政運営を進め、一層の財政健全化と住民サービスの向上に積極的に取り組まれることを期待するものである。

(令和3年度 三芳町一般会計・特別会計決算審査意見書 一般会計むすびを要約)

第5回定例会が8月29日から9月21日までの24日間の日程で開かれ、補正予算案5件など議案10件、報告4件、令和3年度の会計決算認定6件の他、議員発議の意見書が2件、補正予算案に対する修正動議1件が上程、審議されました。修正動議は否決されたことに

より議案・認定についてはすべて原案通り可決・認定され、意見書は1件が採択されました。一般質問は11名の議員が行い、4日間にわたって町政への質問、提案が行われました。

令和3年度新規事業の決算は？（議会だより 180号掲載事業）

ペーパーレスシステム事業

【資料を電子化して業務効率の向上と使用する紙量を減らすことを目的としたタブレット借上料、システム利用料など】

予算額 88万円

決算額 65万円



地域敬老事業

【コロナ禍により開催できない敬老会の代替として各行政連絡区に助成金を出し、地域の高齢者向け事業を行ってもらう事業】

予算額 338万円

決算額 135万円



※申請のあった5つの行政連絡区に対して支出されました。

新型コロナウイルスワクチン接種事業

予算額 2億2274万円（繰越明許費を含む）

決算額 2億6710万円

（令和3年度中に児童生徒及び3回目のワクチン接種費用1億7822万円の補正予算計上）

※町内の接種率



1回接種 82.6%	2回接種 82.2%	3回接種 64.7%
5歳～11歳 14.6% (2回接種)	12歳～19歳 36.8% (3回接種)	20歳～64歳 65.9% (3回接種)
65歳以上 90.7% (3回接種)	77.3% (4回接種)	令和4年9月5日現在

電子母子手帳事業

【従来の母子手帳だけではなくスマートフォンでもお子さんの育児情報の管理ができるアプリの保守管理費用】

予算額 39万円

決算額 39万円

※ダウンロード数 370人

令和4年9月26日現在



緑内障検診事業

【緑内障検診受診者への補助金で56歳と46歳の町民は自己負担金1000円で検診が受けられるようになる】

予算額 218万円

決算額 190万円

※検診を受けた方 256人



ことば

義務的経費：人件費や社会保障費、公債費など任意に削減できない経費

経常収支比率：町税や譲与税など経常的な歳入のうち、義務的経費が占める割合。この割合が高いほど財政の弾力性（町独自で自由に使える財源）が少ないと言えます。

経常一般財源比率：標準財政規模に対する経常一般財源の比率。この値が高い（100を超える）ほど財源に余裕があるとされています。

実質公債費比率：標準財政規模に占める公債費（借金）の返済の割合

将来負担比率：標準財政規模に対する、町が将来払っていく負担額の割合

特別定額給付金給付事業：新型コロナ対策として令和2年度に実施された、一人当たり10万円の給付事業。三芳町民には38億1630万円が給付されました。

令和3年度三芳町決算特別委員会委員の様子



委員長

林 善美

副委員長

久保 健二

委員

鈴木 淳	落合 信夫
吉村美津子	増田 磨美
内藤美佐子	本名 洋
桃園 典子	井田 和宏
細田 三恵	細谷 光弘
菊地 浩二	山口 正史

委員長報告

8月29日開会の第5回三芳町議会定例会において、決算認定6件が本委員会に付託され、9月8日、9日及び12日、13日の4日間にわたり委員会を開催し、委員及び議長並びに町長、教育長及び関係する執行部説明員出席のもと全員協議会室において審査を実施しました。

審査における質疑の経過を踏まえ、委員間の自由討議では委員から出された意見について一つ一つ討議を行い、委員会の総意としてまとめられたものは次のとおりです。

はじめに、今後の決算並びに予算審査全体にかかわるものとして、以前より何度も指摘してきたが、予算資料と決算資料の記載方法が異なることが改善されていない。多々見受けられるので統一して表記すべき。

つづいて、各種事業においては

- ・継続していく補助事業に関しては、前例踏襲で継続するばかりでなく、事業の周知を徹底し、必要に応じて利用促進のための内容修正等を検討していくこと
- ・勤労者住宅資金融資あっせん事業と中小企業融資あっせん事業については、5年以上利用がないので、利用者のニーズやメリットがあるように制度の見直しをし、利用されるよう工夫すること
- ・新型コロナウイルス感染症拡大等で中止になり支出がなかった事業についても記載すること
- ・電気料金については、所管する担当課ごとに把握できるよう考慮すること

- ・抗原検査キットの有効利用を行うこと
- ・職員採用においては、共生社会を目指す当町として引き続き障がい者雇用を進めること
- ・公共交通に関して、高齢者免許返納制度や公共交通利用補助事業の利用率が低いなどの課題があるため、公共交通政策の改善を検討すること
- ・がん検診の受診率は依然として低いので、個別検診の実施等、受診率向上に向け環境整備を進めること
- ・ゴミ分別アプリについては、利用件数を伸ばしていけるよう、より一層の制度周知を徹底すること
- ・予備費を充用する場合はしっかりと精査し、補正対応も検討すること

以上が委員総意の意見です。

執行部には、これらの意見を再認識し、今後の予算編成や財源支出に取り組んでいただきたいと思っております。

なお、採決の結果、一般会計、特別会計、企業会計全6件の全てにおいて「賛成総員」もしくは「賛成多数」として「認定すべきもの」となりました。

委員長報告 指摘点の質疑内容

予算資料と決算資料の 表記の相違

問 当初予算では教材費の内訳が細かく記載されていたが、決算説明書ではまとめた金額で表記されている。理由は。

答 昨年度もまとめて表記したため、今回も同様の表記にした。

問 予算時には「町を花いっぱい消耗品」と表記したものが、決算では「まちかど花いっぱい活動消耗品」になっている。理由は。

答 予算時は町制施行50周年事業の名称だったが、決算時は通常時の事業名での表記とした。

問 議員は全ての内容を確認しているので事業名や表記内容に整合性を取るべきでは。

答 これからはきちんと整合させるように注意している。

きたい。

自転車用ヘルメット購入補助金

問 予算では150人への補助を見込んでいたが、実際は29人の補助金利用。周知はどのように行ったのか。

答 ホームページと担当課の窓口展示、また交通安全母の会の参加事業でPRした。

問 補助制度を利用してもらうために、補助限度額を上げる等の検討はしないのか。

答 利用率が低いのは担当課でも感じている。コロナ禍で啓発の機会が減っている影響も大きい。金額に関しては不公平感が無いようにしたいが、変えるべき時が来れば柔軟に考えたい。

新型コロナウイルス感染症対策交通移動支援事業

問 高齢者へのタクシー料金補助の利用率は。

答 第1期が35・2%、第

2期が36・8%。

問 第2期では事務経費だけで約半分の事業費を使っている。この事業の検証結果は。

答 タクシー料金の補助を行ったことで、町のワクチン接種の割合が高くなったと考えている。

勤労者住宅資金融資 あっせん事業

問 過去5年の利用者数は。

答 過去5年の利用者はいないが、現在2名が利用している状況。

問 利用促進のためにも、民間の金融機関の制度より魅力的になるような検討は。

答 金融機関と利率の交渉などは行っている。制度を無くすと再構築が困難になるので、制度は維持しつつ内容の改善を検討したい。

図書館と藤久保公民館 の電気料金

問 公民館費の電気料金に竹間沢公民館の電気料金しか載っていない。中央公民

館や藤久保公民館の電気料金はどうなっているのか。

答 中央公民館は給食センター、藤久保公民館は図書館と電気メーターが一体となっているため、以前からそれぞれ他方の施設で予算計上をしている。

問 藤久保公民館と図書館は建物が別だが電気料金は一体なのはどうしてか。

答 保健センター、藤久保公民館、図書館は合わせた形で電気料金を支払っている。建設当時からこのことなので、経緯はわからない。

ごみ分別アプリ

問 予算額より少ない支出だったのは、利用者が見込みより少なかったためか。

答 利用人数が原因ではなく、8月からの導入となり、4ヶ月分が執行できなかったため。

問 登録者数は。

答 利用開始から1年で登録者数は2671人。まずは2割の世帯（約3400世帯）の導入を目指したい。

予備費の充用

問 文化会館雨漏り修繕工事に予備費が充用されているが、理由は。

答 修繕工事着工後、外壁の劣化が見受けられたため、既存塗膜の剥離でなく、防水型複層塗材を用いた成形盤面の塗装が必要と判断した。追加工事が必要となったため、増額分の17万円を予備費で充用した。

問 11月11日に予備費を充用したが、12月議会で補正予算とする時間はなかったのか。

答 工事は10月19日から始まっていた。材料の手配に時間を要するため、予備費で対応した。

問 議会の審議を待てなかった理由は。

答 規定予算に不足が生じた際に充てる予備費も確保している。今回は工事作業中に判明したもので、早急な対応が必要だったため予備費を充用した。

反討
対論

日本共産党

町民の要望が強い公共交通の拡充が進まない。コミュニティバスの導入などの抜本的改革が望まれる。三芳スマート IC フル化事業は、交通安全対策が不十分ではないか。障がい者の積極的採用で共生社会を進めること、コロナ禍において、住民生活に寄り添い更なる福祉向上策を求める。

賛討
成論

公明党

コロナ禍で難しい財政運営のなか、経常収支比率では改善が見られた。中止となった事業もあるなか、スマート IC 関連事業、オリパラ事前キャンプでの交流事業、せせらぎ水辺広場の開園、高齢者デジタル支援の講座開催等、町の活性化や町民の希望となる事業が実施されており賛成する。

賛討
成論

三芳みらい

不安定要素が多い中ではあったが、財政状況は概ね良好と思われる。将来的な財政負担も見込まれるため、不断の行財政改革により更に持続可能な財政運営を望む。また、コロナ禍により一部の事業が実施できず不用額が出たが、住民参加の手法を検討し協働のまちづくりの推進を求める。

特別会計

●特別会計とは

ある特定の収入を特定の目的にのみ使用する予算で、三芳町では、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の3事業が該当する。

国民健康保険特別会計

歳入総額 38億 1151万 6162円

歳出総額 36億 5720万 9088円

介護保険特別会計

歳入総額 29億 172万 5806円

歳出総額 27億 3289万 2602円

問 介護に関する入門的研修の趣旨は。

答 これまで介護にかかわりがなかった方が、介護に関する基本的な知識を身につけ介護にかかわる意欲を持ち就労等に繋がるよう支援する。

問 住宅医療介護連携推進事業の住民向け講演会の内容は。

答 最期まで自分らしく暮らすためにというテーマで講演会を実施した。

問 在宅寝たきり老人おむつ支給事業の今後の周知は。

答 ケアマネジャー、地域包括支援センターより行う。

問 地域包括支援センターの2か所の体制と効果は。

答 1包括ごとに3職種（保健師・主任ケアマネ・社会福祉士）3名体制から4名体制で対応、月から土曜までの相談を受け、相談件数実績が200件増加。

反討
対論

日本共産党

基準1を4700円から5050円と引き上げた。65歳以上の介護保険料が値上げとなった。値上げによる住民への影響額はおよそ4300万円。決算歳入歳出差引額は1億6883万3204円。令和2年度末の基金残高は2億6千万円余。これらから住民への値上げの必要性は無いので認められない。

後期高齢者医療特別会計

歳入総額 9億 4981万 7052円

歳出総額 9億 3260万 4426円

企業会計

●企業会計とは

特定の事業について、その事業に関わる利用料金などの収入を基に経費に充て、民間企業と同様、独自に採算を行っている予算で、三芳町では下水道事業、水道事業が該当する。

下水道事業会計

営業損益 △ 1 億 5285 万 9940 円

営業外損益 2 億 8788 万 3922 円

特別損益 54 万 3902 円

純損益 1 億 3556 万 7884 円

問 国庫補助金 800 万円は何に対する補助か。

答 社会資本整備総合交付金事業として交付申請し、三芳町雨天時浸入水対策計画策定業務に活用した。

問 雑収益が令和 2 年度より 470%上がっているが、その要因は。

答 雑収益に受益者負担金等が入ったことによる。

水道事業会計

営業損益 298 万 5070 円

営業外損益 4150 万 5370 円

特別損益 △ 44 万 5463 円

純損益 4404 万 4977 円

問 資産減耗費が増えた要因は。

答 令和 2 年度に予定していた配水管の布設替え工事を繰越し、令和 3 年度に完成した。令和 2 年度に、除却するべきものであったが、それが繰り越したことにより令和 3 年度に除却したためである。

問 流動負債の未払い金が増えている要因は。

答 工事の支払い等が 3 月中に支払えなく未払い処理をしたためである。

問 給水収益が 686 万 1377 円の増となっている要因は。

答 令和 2 年度は水道料金の基本料金の減免を 2 か月行ったが、令和 3 年度は基本料金の減免を行っていないため、その分が増えた。

問 資金期末残高増の要因についてどのように捉えているか。

答 設備更新を適正に行うために必要な原資を確保しなければいけない。その分を原資として積み立てている状態である。

問 有収率が 98.66%に上がった要因は。

答 漏水等の早期発見や早期修繕で漏水の量が減ったことによるものと捉えている。

ことば

受益者負担金：受益者負担とは、下水道整備により利益を受ける区域に土地を所有している人に、下水道事業の建設費の一部を負担してもらうこと。

資産減耗費：資産減耗費とは、固定資産が機能的に本来の使用に耐えられなくなった場合、これを廃棄して帳簿価額から除かなくてはならない。その除却した金額。

有収率：有収率とは、有収水量（徴収の対象となった水量）を配水量で除したもの。配水量に対する料金徴収の対象になった水量の割合のこと。

一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算総額に1億6819万4000円を追加し、歳入歳出予算総額を133億3246万2000円とする。

主な事業

- | | | | |
|--------------------------------------|-----------|---|------------|
| ●国際交流事業 | 311万7000円 | ●新型コロナウイルス感染症自宅待機者支援物資（1000人分 郵送料なども含む） | 457万9000円 |
| マレーシアとの国際交流 | 291万5000円 | | |
| オランダとのオンライン交流 | 15万7000円 | | |
| 講演会 | 4万5000円 | | |
| ●体育館の減収分負担金 | 150万4000円 | ●道路施設維持補修事業 | 5986万1000円 |
| 新型コロナウイルス感染症拡大による町からの時短要請による減収分の町負担金 | | 舗装の打ち替え工事など | |
| ●マイナンバーカードの普及促進 | 40万6000円 | ●道路改良事業 | 4700万円 |
| | | 道路拡幅に向けた用地購入費 | |



路面の補修工事を行う写真
右方向が幹線5号線、写真左方向が幹線17号線

事業中止により減額されたもの

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止となりました。

- | | | | |
|-----------------|---------|-------------|---------|
| ●みよしまつり補助事業 | 499万円減額 | ●子どもフェスティバル | 194万円減額 |
| ●町民体育祭補助金 | 235万円減額 | ●産業祭補助金 | 445万円減額 |
| ●福祉まつり補助金 | 50万円減額 | ●ほたる鑑賞会 | 4万円減額 |
| ●世界一のいも掘りまつり補助金 | 65万円減額 | | |



マレーシアとの国際交流事業費削除の修正動議

新型コロナウイルス感染症により町の様々な事業が中止になる中、ダンスチームを募集し町職員、議員がマレーシア現地に赴いての国際交流事業は時期尚早として、「ペタリングジャヤ国際フェア2022」に参加する経費を補正予算から削除する修正動議が議会より提出されました。採決の結果、マレーシア交際交流事業費を削除した修正案、原案、共に7対7の賛否同数となり、どちらも議長裁決により修正案は否決、原案は可決となりました。

輝

原案に対する

反
討
対
論

補正予算の全てに反対ではない。しかし産業祭や体育祭など、町民向けの各種事業が中止となっている中、率先して職員や議員が町内のダンスチームとマレーシアに国際交流に訪れるための財源支出は、住民の理解を得られると思わない。修正動議を提出した立場からも補正予算案に反対する。

公明党

原案に対する

賛
討
成
論

国民の行動制限は緩和され、ウィズコロナ事業が各地で実施されるなか、本町では町民が楽しみにするみよしまつり等の予算は減額したが、姉妹都市からの交流事業招待に応え、参加者の渡航費用等を予算化したことは住民同士の文化交流等に寄与し今後の明るい事業にも繋がるもので賛成する。

一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出予算総額に1億762万9千円を追加し、歳入歳出予算総額を134億4009万1000円とする。

主な事業

●新型コロナウイルスワクチン接種事業（オミクロン株対応）

今回もタクシー利用券を発行（70歳以上 ワクチン接種以外の乗車にも使えます）

1000円×4450人 445万円

システム改修などの電算処理費 698万5000円

ワクチン追加接種の体制確保 9241万1000円

議案第32号

三芳町議会議員及び三芳町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例

令和2年12月に三芳町議会議員及び三芳町長の選挙は公営選挙となり条例が改正となりましたが、物価上昇等を鑑み一部を変更することになりました。

○選挙運動用自動車の使用

・自動車 限度額 1万5800円→ 1万6100円

・燃料 限度額 7500円→ 7700円

○選挙運動用ポスターの作成

・単価 393.79円→ 405.98円

○選挙運動用ビラの作成

・町議 1600枚まで ・町長 5000枚まで

限度額 7.51円→ 7.73円

議案第34号

運動公園テニスコート人工芝改修工事請負契約の締結について

○受注者 日清建設株式会社

○工事期間 令和5年3月10日まで

○契約金額 1億473万6500円

問 なぜAランク業者のみにしたのか。

答 予定価格5000万円以上の土木工事の入札参加資格についてはAランク以上の業者としている。ただし、町内業者については、Bランク業者も受け付ける。

問 落札業者は、テニスコート人工芝改修工事の経験があるのか。

答 担当課としては把握していない。

問 テニスコートの改修を専門的にやる業者でなくても問題ないのか。

答 事後審査をしている。過去に公共施設工事の施工実績がある。

ことば

ランク：ランクとは、客観的事項と主観的事項の審査結果を点数化し、格付け（ランク付け）を行い、そのランクに応じて、受注できる工事金額が決まる。

議員の賛否公開します



◀詳細については議会ウェブサイトをご覧ください。

○賛成 ×反対

令和4年第5回定例会 審議結果	議員名 結果	三芳みらい					日本共産党		公明党		輝					
		細田三恵	林善美	井田和宏	細谷光弘	山口正史	吉村美津子	増田磨美	本名洋	小松伸介	内藤美佐子	桃園典子	久保健二	鈴木淳	菊地浩一	落合信夫
報告																
令和3年度三芳町一般会計継続費精算報告書について		報告のみ														
令和3年度三芳町健全化判断比率の報告について		報告のみ														
令和3年度三芳町下水道事業会計資金不足比率の報告について		報告のみ														
令和3年度三芳町水道事業会計資金不足比率の報告について		報告のみ														
条例																
三芳町議会議員及び三芳町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
契約等																
運動公園テニスコート人工芝改修工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
三芳町道路線の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
三芳町道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
補正予算																
令和4年度三芳町一般会計補正予算（第4号）	原案可決 (議長裁決)	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×
議案第37号令和4年度三芳町一般会計補正予算（第4号）に対する修正動議	否決 (議長裁決)	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
令和4年度三芳町介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和4年度三芳町下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和4年度三芳町水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和4年度三芳町一般会計補正予算（第5号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
決算認定																
令和3年度三芳町一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
令和3年度三芳町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度三芳町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
令和3年度三芳町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
令和3年度三芳町下水道事業会計決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度三芳町水道事業会計決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情・要望																
中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情		配布のみ														
核も戦争もない平和な二十一世紀を求める要望書		配布のみ														
意見書																
女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
安倍晋三元首相の「国葬」の実施に反対する意見書について	否決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	

議 会 活 動 日 誌

8月

- 8日 議会運営委員会
議会広報広聴常任委員会
- 9日 厚生文教常任委員会所管事務調査
- 10日 政策検討会議
総務常任委員会
- 16日 全員協議会
厚生文教常任委員会
- 17日 東京都瑞穂町議会議員政策研究会
政策調査部視察来庁
- 22日 総務常任委員会
- 25日 議会広報広聴常任委員会
議会だよりモニター会議
- 29日～9月21日
令和4年第5回三芳町議会定例会
- 29日 議会広報広聴常任委員会

9月

- 5日 厚生文教常任委員会
- 6日 全員協議会

- 6日 総務常任委員会
- 8日・9日・12日・13日
決算特別委員会
- 14日 議会広報広聴常任委員会
- 20日 議会運営委員会
- 27日 令和4年第2回入間東部地区事務組合
定例会
- 29日 議会運営委員会

10月

- 4日 埼玉県町村議会議員研修会
- 6日 議会広報広聴常任委員会
- 7日 厚生文教常任委員会
- 12日 政策検討会議
- 13日 総務常任委員会
議会広報広聴常任委員会
- 18日 全員協議会
- 21日 令和4年第6回臨時会
- 29日 ふれあい座談会（議会報告会）
- 31日 入間郡町村議会議員研修会

表紙写真のご紹介

2022年度夏季巡回「ラジオ体操・みんなの体操会」が7月22日三芳町運動公園グラウンドにて開催された様子です。当日は、早朝にもかかわらず小さなお子さんから大人の方527人が集まり、体操のお兄さんの掛け声とピアノの生演奏に合わせて元気にラジオ体操を楽しむ様子が全国に放送されました。担当課をはじめ三芳町区長会等多くの皆さんが夜明けと共に、会場設営や運営ボランティアに携わってくださり本当にありがとうございました。



次の議会定例会は

11月18日 (金)

開会の予定です



**声の議会
だより**

朗読ボランティア「けやき」の皆さんが朗読したものを三芳町議会ウェブサイトで聴くことができます。



※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です



マイナンバー制度の廃止について

日本共産党
吉村美津子
よしむらみ つこ



マイナンバーカードの取得は任意だ。2016年1月交付開始から5年近くがたつても普及率は23%であった。国民が必要を感じておらず、個人情報漏えいの心配が強いので普及が進まなかった。そこで総務省は、複数のタレントを起用し、マイナンバーカードを付けるマイナンバーカードの申請を促している。

また、国はマイナンバー制度とデジタル庁を連携させ、事業や業務の担い手を人から機械へと移行させて自動化を実現させる方向だ。

問 住民と職員との接点を大切に行政の対応を求めようか。
答 **住民課** 住民の利便性を高めることは必要。住民と接する時間が増え、職員は丁寧な対応ができる。

問 マイナンバーカードの裏面のICチップには様々な情報が関連付けされる。金融機関の預貯金、コンビニ交付、図書館利用、公的施設予約、地域の買い物ポイント、国家

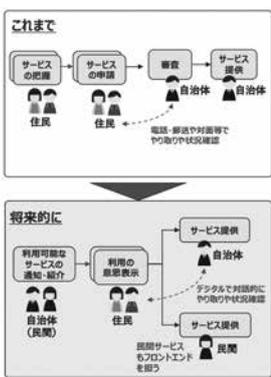
資格、自動車登録などこれはほんの一部。アメリカでは「なりすまし被害」が深刻化。韓国でもクレジットカードや銀行口座に関する個人情報盗まれていたことがわかり、銀行に預貯金が無事かどうかを確認しようとする顧客が押し寄せたとのこと。

マイナンバー制度の問題点は、①個人情報漏えい②なりすまし犯罪③国による国民の個人情報の管理の一元化だ。マイナンバーカードの取得は任意であることを重んじるべきでは。

答 **住民課** あくまでも任意のもの。

その他の質問

①ゾーン30プラスを含む交通安全対策②熱中症対策③新型コロナウイルス対策について



AYA 世代等がん患者の支援充実

公明党
内藤美佐子
ないとうみ さこ



問 がん検診率の向上に、現在集団検診のみの胃がんバリウム・乳がん・前立腺がん検診に医療機関での個別検診を導入しては。
答 **健康増進課** すべてを個別検診にするのは難しい。乳がん検診の無料クーポン検診は個別検診とした。

問 本町の乳がん検診自己負担額二千円は他自治体に比べると高い。減額しては。
答 **健康増進課** 各自治体で金額は違う。どのような方法が良いか検討する。

問 AYA世代(40歳未満)のがん患者に在宅療養生活支援制度を創設しては。
答 **健康増進課** 経済的な支援も含め、どのような支援ができるか研究したい。

問 抗がん剤副作用で脱毛に悩む方に「ウィッグ」の購入補助はどうか。
答 **健康増進課** 県内自治体でも助成制度が広がってきている。心理的な負担への対応として研究する。

問 喉頭がん等で喉頭を摘出した方の代用音声のシャント発声法に必要な「人工鼻」への購入補助は。

答 **福祉課** 近隣市では「身体障害者日常生活用具」に指定されている。いつでも提供できるように本町でも要綱を準備したい。

交差点の安全対策を

問 国道と幹線20号線交差点に定周期信号機等設置は。
答 **道路交通課** 国道との接続部分が現状では設置要件を満たしていない。

問 交差点や道路の安全に幹線20号線(国道)役場前通り)の道路拡幅整備は。
答 **町長** 地元住民より拡幅要望もある。国道から役場への道路として調査する。

問 幹線6号線と21号線交差点の安全確保に21号線の道線に合わせた拡幅は。
答 **町長** 開発を待つのではなく、地権者と協議する。



幹線20号線 交差点手前



7月8月の コロナ感染症について



三芳みらい
山口正史
やまぐちまさふみ

問 7月8月で、救急搬送時に2時間以上待機させられたケースは。

答 **健康増進課** 搬送先が決まらずに待機させられたケースはなかった。

問 町では感染者の自宅療養者及び自宅待機者で希望者に食料等の支援を行っている。支援した人数及び予算上は何人の支援が可能か。

答 **健康増進課** 令和4年4月1日から8月20日までに支援助資824人分を郵送した。8月25日現在約300人分を在庫している。

問 重傷者の入院に支障は無いか。

答 **健康増進課** 埼玉南西部での重傷病棟使用率は約9.5%なので逼迫はしていない。

問 冬には感染が再拡大し第8波の予想もあるが、対策は。

答 **健康増進課** 新しいワクチンの接種体制を整えてゆく。

問 町で備蓄している抗原検査キットを希望者に配布できないか。

答 **健康増進課** 町で備蓄している抗原検査キットは、施設でのクラスターを防ぐ目的で活用している。個人への配

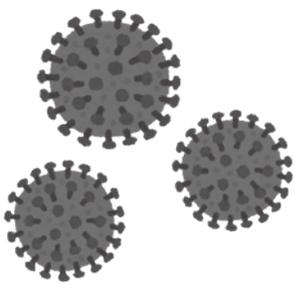
布は現在のところ難しい。

答 **町長** 第7波で状況が変わったと感じている。担当課の答弁は正しいが、今後の第8波に備えて体制を構築してゆきたい。

国・県補助金について

問 国・県では自治体の事業に対して色々な補助金を用意している。なかには広範囲にわたるものや、条件が複雑なものも有る。補助金を確実に得る為に的確に把握する部署が必要では。

答 **町長** 以前と比べて補助金・交付金に対する課長の意識は変わってきたが、更に体制を強化したい。



リトルベビーハンドブック作成を



公明党
桃園典子
ももそののりこ

産後ケアとリトルベビーハンドブックについて

問 町内における低体重児出生の過去3年の推移は。

答 **健康増進課** 令和元年15件、2年22件、3年16件。

問 母親の心理的負担軽減のために、家事支援実施機関との連携を強化しては。

答 **健康増進課** 家事育児への援助は必要であると考え、産後ケア全般にわたる親のニーズ調査を実施し支援の体制整備を検討していく。

問 低体重児出産の母親が安心して育児に臨めるよう様々な配慮が盛り込まれているリトルベビーハンドブックを作製し活用しては。

答 **健康増進課** きめ細やかな親の支援の重要性を考え、県の動向を踏まえ出来るだけ活用して行きたい。

庁舎内の利便性向上を

問 障がいのある方への配慮として、障がい者駐車場へのインターホン設置や庁舎内の点字ブロックの敷設整備を進めてはどうか。

答 **施設マネジメント課** 移動への支援や点字ブロックの敷設等、今後予定している庁舎保全工事の際に優先順位をつけて整備を進めていきたい。

答 **町長** 全住民が安心して来庁できるよう環境を造るのは急務と思っている。町内施設のバリアフリー化の方向も含め早急に対応していきたい。

女性相談充実について

問 貧困等の課題に直面している女性の支援強化を目指し困難女性支援法が成立した。子どもの貧困への連鎖の懸念も鑑み、女性相談の更なる充実のため相談日の拡充やオンラインでの相談を可能にしてはどうか。

答 **総務課** 他団体の動向を見ながら、町として必要な取り組みを検討していく。





中学校の男女統一型制服について

三芳みらい
細田三恵
ほそだみつえ



農業活性化について

問 3つの中学校の現状は。
答 **学校教育課** 3校とも制服検討委員会を設置し見直しを進めている。令和5年度に三芳中学校、令和6年度に三芳東中学校と藤久保中学校へ導入予定。三芳中学校の制服の形は、ブレザータイプで男子もスカートを選択でき女子もスラックスを選択できる状況だ。

問 肥料の急激な高騰が、農家に与える影響は。
答 **観光産業課** 価格転嫁が難しい状況だ。また、秋春用の肥料の価格も20%増となり大きな影響がある。

問 各農家の対応、対策は。
答 **観光産業課** 可能な範囲で多めに発注し、在庫として取り敢えず確保したが、今後の見通しは難しいとのこと。秋春肥料を対象にして価格上昇分を国による一部補てんが、実施予定であり今後とも注視していく。

問 導入前の児童生徒・保護者へのアンケート調査は、何を目的に行ったか。
答 **学校教育課** 多様な性に配慮した制服を選べるように、デザイン性や色、価格等広く意見を聞く為に実施した。何を望んでいるかを把握し制服検討委員会にて検討する際に生かしたい。

問 制服が変わることについて、懸念があった場合はどう対処するか。
答 **学校教育課** いじめは絶対に許されない事。これまで通り指導していく。

問 「1日農業バイトアプリ」の活用の推進としては。
答 **観光産業課** 農家にとって労働力の確保は、重要な課題である。アプリ利用時における農家側の作業内容等の確認や要望等を確認すると共に調査研究していく。

問 制服が変わることについて、懸念があった場合はどう対処するか。
答 **学校教育課** いじめは絶対に許されない事。これまで通り指導していく。

制服を、A・B・Cの3タイプに分けた呼び方に変更し意識改善を図っていく。



町内の暑さ対策について

三芳みらい
林善美
はやしよしみ



現在の三芳町公共施設マネジメント計画にはZEB化は盛り込まれていない。5年ごとの見直しの中で盛り込む必要はあるか。

問 熱中症と思われる症状で体調を崩した児童・生徒数は。
答 **学校教育課** 小学校20名、中学校42名。

問 熱中症計の整備状況は。
答 **学校教育課** 令和2年度各校に3〜4台配布、校庭・体育館・保健室等に設置している。

問 熱中症対策ガイドラインの作成は。
答 **学校教育課** 各校の危機管理マニュアルの中で、熱中症計の設置・状況把握・応急処置・連絡体制・原因究明・再発防止予防策など、熱中症に対する事項を全職員に周知している。

問 レクリエーション公園利用団体や近隣住民からの声は。
答 **都市計画課** 暑さ対策に関する相談はない。

問 日よけのためのベンチを設置してはどうか。
答 **都市計画課** 利用者などから要望があれば調査・検討する。借地のため、設置可能か地権者と協議の上で決定することになる。

問 現在の三芳町公共施設マネジメント計画にはZEB化は盛り込まれていない。5年ごとの見直しの中で盛り込む必要はあるか。
答 **マネジメント課** 個々の施設の状況が異なるため、具体的に盛り込むことが適切かどうかも含め、公共施設全体としての省エネ化の方策について十分に検討し見直しを行う必要がある。

問 瓦屋根の緊結方法が強化された。過去に瓦屋根の被害はあったか。
答 **自治安心課** 罹災証明は平成23年から7件発行。

問 法改正の周知は。
答 **都市計画課** ホームページに掲載する。

問 日よけのためのベンチを設置してはどうか。
答 **都市計画課** 利用者などから要望があれば調査・検討する。借地のため、設置可能か地権者と協議の上で決定することになる。

問 日よけのためのベンチを設置してはどうか。
答 **都市計画課** 利用者などから要望があれば調査・検討する。借地のため、設置可能か地権者と協議の上で決定することになる。

建築関係法令の動き

その他の質問

①屋根瓦の耐風改修工事への補助②コロナ相談窓口の相談件数





住みたくなる町を目指す取組み!



輝
久保 健二
くぼけんじ

問 多くの方から車両の往来時に家屋が揺れるといった同様の相談を受けているが揺れの原因は。

答 **道路交通課** 経年劣化による舗装の破損や継ぎ目の段差で発生する振動と交通量増加による構造の強度不足が原因と考えている。

問 町民の方に家屋の揺れの相談を受けた後、担当課には既に相談をしていたが、今回行う予定の路盤からの修繕工事は家屋の揺れに対する工事と捉えて大丈夫か。

答 **道路交通課** 家屋の揺れ対策の修繕工事である。

問 減少している行政区及び世帯数の3年間の推移は。

答 **自治安心課** 過去3年間の推移で加入世帯が減少している行政区は北永井第2区129世帯、藤久保第1区108世帯、第6区が78世帯減少している。

問 藤久保第3区では区独自で全世帯を対象にアンケートを実施している。他の行政区に対しても同様のアンケートを実施出来ないか。

答 **自治安心課** 区長会などでアンケート実施について話

をしたい。

問 藤久保小学校のプールは令和6年度解体、その後の建設はしない計画だが、解体後のプールの授業は、どのように行っていくのか。

答 **教育総務課** 民間の施設の利用を予定している。

問 他の小・中学校の児童生徒への公平性、保護者への説明責任が生じると感じるが、藤久保小学校以外の学校のプール授業はどのように行っていく予定なのか。

答 **学校教育課** 既存のプールを使うか民間の施設を利用するか検討している。

問 9月以降のスケートボード滑走エリアの開放は。

答 **施設マネジメント課** 9月以降も試行的に、今回開放したエリアを予定している。合わせて他の場所も調査、検討していきたい。



8月より解放されたスケートボード滑走エリア



重要計画を滞りなく進めるために



輝
鈴木 淳
すずき じゅん

問 立地適正化計画では市街化調整区域は居住誘導区域に指定されない。そのため市街化調整区域のコミュニティの中心となる地域核でも、上下水道等のインフラや新施設の建築は今後行われない、とも捉えられかねないが、町の見解は。

答 **都市計画課** 各地域核のコミュニティ維持のためにも公共インフラや施設の整備は必要と考えている。

問 令和8年の竣工に向け動き出した藤久保地域拠点施設だが、町内各所からの移動手段についての検討は。

答 **政策推進室** ライフバスの8番線を利用することでみよし台地区の方も藤久保公民館に行くことはできる。シェアサイクルの導入を検討している他、幹線7号線の拡幅整備を進めているので、これらを加味して検討を進めていきたい。

問 町内小中学校の統廃合についての再編計画を策定するため、現在は関係者によって検討委員会が開催されている。繊細な問題だけに、計画策定前にしっかりと住民説明会を

行うことが大切と考えるが、予定は。

答 **学校教育課** 児童生徒、地域住民に与える影響が大きいため、住民説明会を実施し、合意形成を図ることが重要と考えている。

幹線17号線の鉄柱

問 アクロスプラザ北側を通る道路に設置された黄色の鉄柱について、前回の質問後も町民から多くの反響がある。どれもその危険性を訴えるものだが、町として対応してもえられないのか。

答 **町長** 鉄柱は歩行者の交通安全対策として地元の方の要望により設置したものの、最近は苦情も減ってきていると捉えているが、今後も苦情が続くのであれば対応策も考えたい。



直されたばかりの鉄柱についた擦り痕



どうなる部活動の地域への移行

日本共産党
本名 洋
ほん な ひろし



スポーツ庁の検討会議の提言により、令和5年度から部活動を学校から地域へ移行していくことになった。

問 部活動の地域移行の目的は。

答 **学校教育課** 部活動が教員の業務負担になっていることを踏まえ、働き方改革を推進し、教育の質の向上を目指すものである。

問 生徒、保護者の意見聴取は。

答 **学校教育課** アンケートを含む意識調査を行いたい。

問 部活動指導員の確保はできているのか。

答 **学校教育課** 今後の検討事項としている。

問 財源の確保はできているのか。

答 **学校教育課** 課題の一つとして検討する。

問 保護者の負担は。

答 **学校教育課** 負担の有無も検討していく。

問 生徒が部活動に参加する権利は保障されるか。

答 **教育長** 希望する生徒が全員参加できるよう検討していく。部活動の地域移行は多くの課題がある。県の市町村

教育委員会連合会など教育関係3団体連名で国や県へ必要な措置を講じるよう要望書を提出した。

三芳町パートナーシップ宣誓制度その後

問 「パートナーシップ宣誓制度」を家族も対象となる「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」へ発展させては。

答 **総務課** 情報収集しながら調査・研究していく。

町の公共交通について

問 「三芳町交通ビジョン」の今後の予定は。

答 **町長** 来年度、地域公共交通計画を策定し、新たな交通ビジョンにしていきたい。



この4年間の町政運営について

三芳みらい
井田和宏
い だ かず ひろ



問 町長マニフェスト「未来創造プラン」の令和4年度を含めた達成率は。

答 **政策推進室** 概ね85%となる。

問 達成率が低かった所は。

答 **政策推進室** コロナ禍で不安と閉塞感の中、住民が集うものについては達成率が低いものもあるが、手法を変え対処している。

問 この4年間の町政運営の中で、何を変えて、どこに好機を見いだし、どのように挑戦してきたのか。

答 **町長** コロナウイルスという人類史上未曾有のパンデミックが、真のチャンスとチャレンジに気付かせてくれた。誰一人取り残さない、一人一人の命と暮らしを守り、共に支え合い、みんなが幸せになる共生社会を実現していきたい。

問 第5次総合計画は令和5年度に終了するが、全体の評価は。

答 **町長** 総合計画策定時には想定しえなかった事態の発生により厳しい局面が続いたが、一定の成果を残すことが出来たと考えている。

問 今の財政状況は。

答 **財政デジタル推進課** 概ね健全性が維持されていると捉えているが、昨今の不安定な経済情勢や老朽化による公

共施設の更新等将来的な財政負担も見込まれるため、不断の行財政改革の取組みにより持続可能な財政運営に努めていきたい。

問 町長の任期も令和5年1月で満了になるが、その後については。

答 **町長** まちづくりは道半ばにある。その仕事をやり遂げる使命と責任があると考えている。これまでの実績と今後の三芳町のビジョンを示し、信任を得ることが出来たら引き続き町政を担っていききたいと考えている。





パン工場跡地の開発予定について



三芳みらい
細谷光弘
ほそ や みつひろ

問 開発の内容は。

答 **都市計画課** 10階建てマンション1棟と戸建住宅33軒の開発の予定、残地が1ヘクタール残るが、開発協議等の申請はまだない。

問 開発により増加する予想人口は。

答 **都市計画課** 今回の開発では、合計1000人の増を見込んでいる。

問 竹間沢小学校への影響と対策は。

答 **教育総務課** 現段階では開発に伴う児童数の増に対しては対応できる。クラスが増える場合には、ギガスクール等に対応した設備等の整備が必要となる。

問 幹線道路の整備・未整備箇所による危険度の差について町はどう考えるか。

答 **道路交通課** 一般的な判断では歩道整備されていた方が危険度は低い。

問 歩道が無いと危険であるという認識の中、川越街道からみずほ台駅に向かう幹線22号線の道路の歩道は、いつ整備する予定か。

答 **道路交通課** 都市計画道路となつているので一定の用地確保が出来てから行う予定時期は未定。

問 幹線22号線は防犯灯等が少なく、通行人が見えなくて危ないという意見があるがどう考えるか。

答 **道路交通課** 防犯灯が少ない等の意見は、町は聞いてない。必要に応じ夜間の視認性の確認はしていく。

問 幹線23号線の歩道整備について歩道が無く大変危険なのでしっかりと進めて頂きたいが、町の考えは。

答 **道路交通課** 令和元年の道路拡幅計画の調査により、優先順位が高くないので今のところ整備の予定はない。

その他

抗原定性検査キットの市町村無料配布事業等

問 歩道が無いと危険であるという認識の中、川越街道からみずほ台駅に向かう幹線22号線の道路の歩道は、いつ整備する予定か。



幹線22号線路側帯
本当に狭い！
優先度が低い？

議会の動画を配信しています。



議会の動画をインターネット動画配信サイトYouTube上でご覧になることができます。本号の記事中にある動画のQRコードを読み込むか、右記QRコードにアクセスしてください。



三芳町議会
中継ページ

意見書

女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書

女性デジタル人材の育成は、女性の経済的自立や成長産業への移動支援を図る上で極めて重要である。また国の生産性向上、大都市一極集中の緩和、感染症等のリスク低減などで期待が寄せられている。
女性デジタル人材育成を強力に推進するための必要な支援や予算の拡充を強く求める。
提出先 国関係機関



ことば

意見書：意見書とは、議会が地方公共団体の機関としての意思を意見としてまとめた文書です。

入間東部地区事務組合報告

入間東部地区事務組合とは

防災・消防行政、し尿処理、しののめの里による斎場運営といった環境衛生行政を2市1町で共同して行っています。各市町議会から5名ずつの議員が、事務組合議員として活動しています。三芳町からは、細谷光弘議員、内藤美佐子議員、鈴木淳議員、久保健二議員（議長）、本名洋議員の5名が活動しています。

去る9月27日、令和4年度第2回入間東部地区事務組合議会定例会が開催され、令和3年度決算の審議が行われ、総員賛成にて認定されました。歳入総額は前年度と比べ約5.8億円減の40億8225万849円となりました。

各市町村の負担金（歳入総額に占める市町の負担割合は、78.1%となりました）

区分	令和3年度 負担金総額	令和2年度 負担金総額	前年度比	増減率
三芳町	652,110,774円	683,193,634円	△31,082,860円	△4.5%
富士見市	1,244,862,398円	1,316,703,036円	△71,840,638円	△5.5%
ふじみ野市	1,292,748,828円	1,363,400,330円	△70,651,502円	△5.2%
合計	3,189,722,000円	3,363,297,000円	△173,575,000円	△5.2%

歳入決算額の減少要因は、東消防署富士見分署庁舎建設事業債の皆減等による組合債の減、構成市町負担金の減です。三芳町に関しては、第5分団車庫改修工事が行われました。



救急出動件数について

令和4年1月1日から8月31日までに昨年度比1,847件増の9,817件の救急出動がありました。このうち新型コロナウイルス感染者の救急搬送件数は、疑いを含め689件を数え、特に8月には230件となり、同月緊急出動件数の15.7%を占めました。

★住宅用火災警報器の取付け支援 入間東部地区事務組合では管内のご家庭を対象に、消防職員による住宅用火災警報器（電池式のものに限ります。）の取り付け支援を行っています。取付費用は無料です（住宅用火災警報器は各自でご用意ください）。

入間東部地区事務組合消防本部予防課（電話 049-261-6007）へお問合せください。



委員会活動報告

広報広聴常任委員会

- ・年4回の定例会毎に議会だよりの編集及び発行を継続して行いました。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により傍聴者の感染予防の観点から、一般質問を含め議案審議等をネットで見られるようにネット中継を実施。
- ・「議会だより」を読みやすくするため、町民の方から提案を頂く「議会だよりモニター会議」を開催しました。頂いた提案を生かすための検討を今後も継続して行う事を確認しました。
- ・議会の活動報告及び町民の方からご意見などを頂く「ふれあい座談会（議会報告会）」を3年ぶりに企画し開催の準備を進めました。



議会運営委員会

◎所管と定数

議会の運営、会議規則、委員会に関する事項及び議長の諮問に関する事項を所管し、定数は6名

◎協議している検討課題

- ・コロナ禍での議会運営について
 予算、決算の審議方法
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための議員の登庁ガイドラインの制定
- ・議会の個人情報の保護に関する条例の策定

◎議会のペーパーレスの取組みについての経過報告

- ・ペーパーレスの取組みで先行している神奈川県秦野市議会と茨城県守谷市議会を視察予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の第6波と重なり現地に赴くことはできず、それぞれオンライン会議システムで両市議会の取組みを学ばせていただきました。
- ・限られた時間ではありましたが、解決すべき課題や効果など大変参考になりました。
- ・今では三芳町議会では予算、決算を含む全ての議案書や関係する資料はオンライン化されました。また、これまで議会事務局に持参しなくてはいけなかった一般質問通告書や届出などメール添付により提出することが可能となりました。
- ・今後は押印廃止なども含め、さらにペーパーレスを進めていくよう協議します。



委員会活動報告

厚生文教常任委員会

当委員会は、7月と8月、不登校児童生徒支援に積極的に取り組む先進地東京都福生市、神奈川県川崎市、子ども夢パーク（フリースペースえん）を視察しました。7月、福生市では子供の居場所や新たな学び場として学校復帰を目指す学校適応支援室、次に社会的自立を目指す不登校特例校分教室7組設置を学びました。また、福生版プロジェクト学習実施と個別支援カルテ作成・活用がなされ、教育相談員11名の在籍による相談や対応、土曜開設も行われ児童生徒の心の変化に気づき手厚い対応もあり、支

援が充実していました。8月の川崎市は、平成21年施行の川崎市子どもの権利に関する条例を基にしたかわさき共生・教育プログラムの実施や教育支援コーディネーターの配置等の事業が行われていました。中でもフリースペースえんは、学校復帰を目標とせず、将来的な社会的自立を目指していました。今回の視察は、三芳町において重要な課題と捉えることができ、大変多くの参考となりました。



総務常任委員会

総務常任委員会では、7月28日・29日に所管事務調査を実施しました。

今回の所管事務調査では、公共交通について茨城県の五霞町、阿見町、龍ヶ崎市、そして自動運転バスについて乗車のみではありませんが境町を訪問しました。

今回、調査を行いました4自治体は、人口減少や高齢化などが進む中でいずれも公共交通に対する基本姿勢が当町よりも前向きであるように感じられました。

三芳町の住民意識調査でも「力を入れるべき施策」の1位がバスなど公共交通の整備という結果が出ています。

今回の視察を終え、当委員会では、公共交通調査等を行い、現状や住民のニーズを把握し、町に必要な公共交通システムを多方面から検討し、実現に向けて研究していくこ

とが重要であり、公共施設や道路の整備、社会福祉と同様に自治体が行うべき施策と捉え、公共交通網の改善を優先事業とし、検討していくべきとの結論に達しました。

また当委員会では公共交通以外に、三芳スマートインターチェンジの整備状況の調査、各行政区の集会所の老朽化や修繕が必要な箇所の調査・確認、防災倉庫の点検、定例会開催時の火災や地震を想定した避難訓練の実施、避難時の進行表の作成などを所管し、協議、活動をしています。



みんなで考える 公共交通



議会だより 185号「みんなで考える公共交通」について
たくさんのご意見大変ありがとうございました！

路線バス



デマンド交通



コミュニティバス



総務常任委員会では、この2年間公共交通について、住民の皆さんとの意見交換会を何度か計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により開催できませんでした。そこで今回議会だよりの紙面で意見募集をさせて頂きました。

結果報告

〔意見数〕	〔地域〕				〔年代〕			
22通 (25人)	藤久保	11人	竹間沢	1人	10才代	1人	50才代	7人
	北永井	6人	上富	0人	20才代	0人	60才代	1人
	みよし台	2人	不明	5人	30才代	0人	70才代	8人
					40才代	1人	80才代	4人
							不明	3人

主な意見

- 新しく建設される藤久保地域拠点施設を含め、町内の各公共施設、スーパー、医療機関などを結ぶバスを望む
- 町内は道路幅がせまいため小型バスが動き易い
- バスにICカードが利用できるようにしてほしい
- 高齢者が運転免許証を返納しても気軽に出かけられるよう公共交通を充実させてほしい
- 利用料金を低額に設定してほしい（高齢者、障がい者の割引きなど）
- 町内で開催される行事等に合わせて臨時バスを運行してほしい
- バスの本数を増やしてほしい

今後、総務常任委員会では皆様のご意見、委員会での調査研究をもとに、町への要望や提言など考えております。

議会だより モニター会議 報告

8月25日に、第2回「議会だより」モニター会議を開催しました。当日はモニターの皆さん5名が参加され、多くの提案を頂きました。提案して頂いた主な意見は以下の通りです。貴重な提案を頂き、モニターの皆さまには感謝致します。

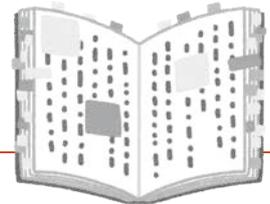
● 表紙について

- ・議会だよりの名称 ・タイトルデザインの変更
- ・表紙写真を町民から募集
- ・一番訴えたいことを表紙に大きく表示する
- ・目次から中の情報が分かるように



● 文章について

- ・記事の内容を中高生でも解るように又言葉使いを柔らかく
- ・重要な所は「赤」などにし、目立つように



● レイアウト・デザインについて

- ・文章のフォントを変更し読みやすく
- ・文字を大きくし読みやすくする
- ・一般質問の文字について、大きさを強弱をつけて見やすくしては
- ・内部色は緑よりオレンジが見やすい



● 構成・企画について

- ・用語説明は別ページではなく、用語と同じページに掲載
- ・事業の進捗状況
- ・町に対する意見を言えるコーナー（住民参加型の議会だより）
- ・ネットを使ったアンケート募集

以上の提案頂いた内容を9月14日の広報広聴常任委員会で早速検討し、すぐに出来る内容を「議会だより」186号に反映させました。反映した内容は以下の4点です。

- 「議会だより」のタイトルデザインの変更
- 一般質問のフォントサイズを変更し、行間を広げて読みやすく
- 誌面の色を緑からオレンジに
- 用語解説を別ページではなく、用語と同じページに配置

今後も頂いた提案を引き続き検討する予定です。

藤久保地域拠点施設整備等事業について 皆さまからのご意見・要望をお寄せください

町では、藤久保地域拠点施設整備等事業を進めています。

事業の内容は「広報みよし」令和4年5月号等を確認してください。

既に設計・施工及び完成後 20 年間の運用・管理を行う業者（企業体を含む）を募集し、入札の基準を定めた「要求水準書」を公表し、業者を募っています。

議会では「政策検討会議」を設置し、本事業への町への提言を取りまとめています。そこで住民の方からもご意見・ご要望を頂きたいと思えます。頂いたご意見・ご要望は「政策検討会議」で内容を検討し、町へ提言させていただきます。

ご意見・ご要望は特に書式はありませんが、居住している地域及び年代を明記の上、メール、文章あるいは FAX で議会事務局までお寄せください。

提出いただく期間は 11 月 30 日までをお願いします。

メールアドレス：

gikai@town.saitama-miyoshi.lg.jp

FAX：049-274-1057



「広報みよし」
令和4年5月号

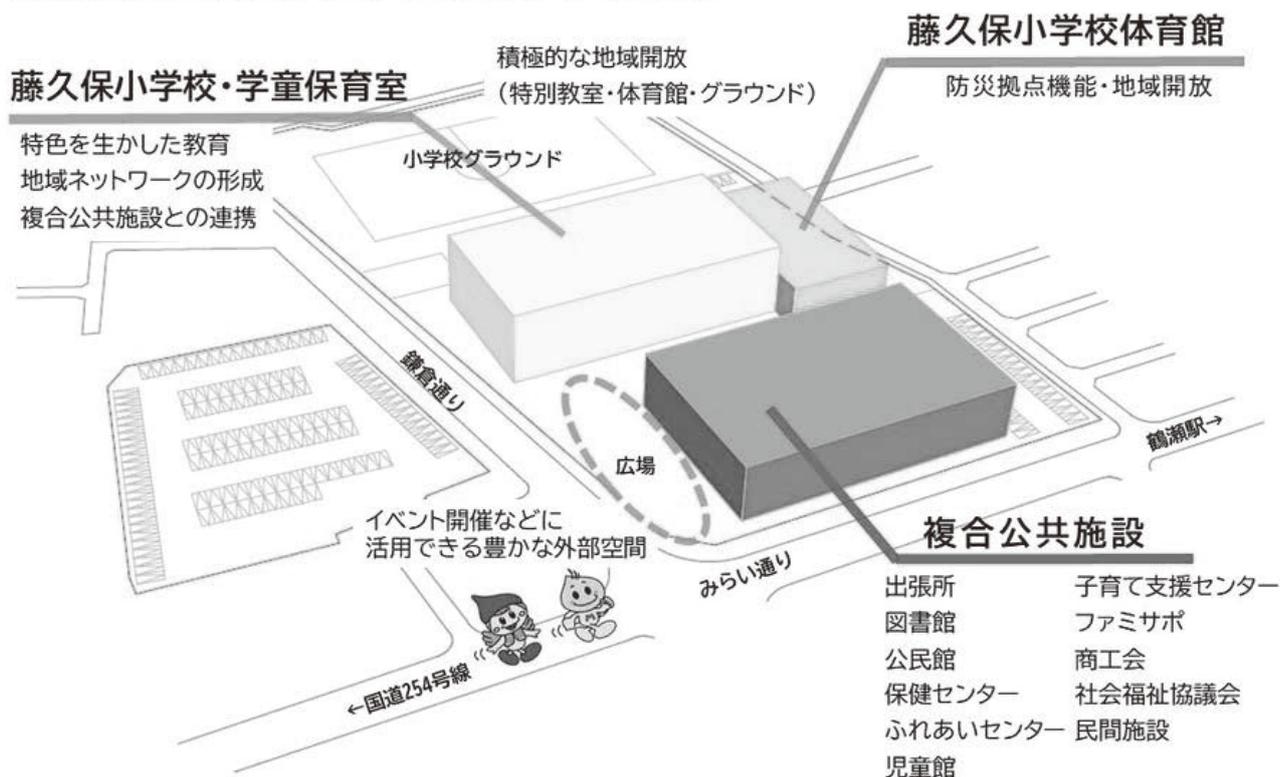


※イメージであり、完成図とは異なります

ことば

要求水準書：要求水準書とは、一般的な委託業務や請負業務における仕様書に相当する文書です。

藤久保地域拠点は、こんな施設です！



ウィズコロナを目指して

人々の交流が少しずつ戻ってきました



10月1日に藤久保連合区長会（藤久保第1区から6区の区長連合）主催のスポーツ交流会が3年ぶりに開催され、議会チームも参加してきました。

今回はスポーツ推進委員のご協力のもと、子どもから大人まで幅広く楽しめるフィンランド発祥の『モルック（モルックという木製の棒を投げてピンを倒す競技で、ピンに書かれている数字や倒した本数で合計50点を目指すもの）』という初体験のスポーツに挑戦。

スポーツ交流が終わり、チームのメンバーとお話ししたり座って一息ついている皆さんに久々の藤久保地域のスポーツ交流で感じたことをお聞きしてきました。圧倒的に多かった意見は「楽しかったあ」でしたが、他にも小学生からは「またやりたい、すぐやりたい」「もっとできるよ」「ウヒャー 疲れたあ」 高齢者の皆さんからは「みんなでできるゲームは一体感ができていいよね、同じ区でも知らない人もいるからさ」「外でやっても気持ち良さそう」「久しぶりに皆さんにあえたこと、それが一番良かった」

私たち議員だけでなく参加した皆様も、明るい笑顔と歓声が響く中、地域交流の温かさを感じ、繋がることの大切さを感じるひと時を過ごされ、「またね」「お疲れ様」と笑顔で体育館を後にされました。



編集後記

議会だより第186号
をご覧いただきまして、誠にありがとうございます。ご
ざいます。

さて、先日まではコロナ禍で新聞の感染者数の欄をよく見ていました。オミクロン株の拡大で、学校に行けない小学生、中学生をはじめ、毎日沢山の方が大変な時を過ごしたことでしよう。この度の第7波による影響も少しずつ小さくなっているところですが、早くコロナ禍が収束したら良いと思っています。

三芳町議会では、8月29日から9月21日まで第5回定例会を開催し、令和3年度決算認定などの審議を行いました。また、ふれあい座談会を10月29日に開催し、参加された皆様から様々なご意見をいただきました。ご意見は今後活かして行きたいと思っています。ご参加いただいた皆様、ありがとうございます。

議会広報広聴常任委員会

- | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員長 | 委員長 |
| 山名 | 正洋 | 鈴木 | 細田 | 増田 | 落合 | 委員 | 委員 |
| 山名 | 正洋 | 鈴木 | 細田 | 増田 | 落合 | 委員 | 委員 |
| 山名 | 正洋 | 鈴木 | 細田 | 増田 | 落合 | 委員 | 委員 |